

Qatar Supreme Committee for Delivery & Legacy
(2022 年サッカーW 杯カタール大会伝送と遺産の最高委員会)

2021 年 12 月 15 日

カタール、FIFA ワールドカップ™の準備への試金石となる FIFA アラブカップ™を開催

交通手段、会場、セキュリティなど主要分野をテスト

FIFA アラブカップ™の準々決勝終了*を受け、ホスト国カタールの大会主催者は日曜、本大会は来年の FIFA ワールドカップ™に先立って準備を微調整する絶好の機会となったと述べました。
*準々決勝の試合は 12 月 10 日に開催されました

Supreme Committee for Delivery & Legacy (伝送と遺産の最高委員会 以下、最高委員会)、FIFA ワールドカップ・カタール 2022 LLC (Q22)、カタール 2022 安全 & セキュリティオペレーションズ委員会 (SSOC) の役員は、試合会場、交通手段、セキュリティおよびチケット発券など、多岐にわたる主要なトピックについて記者会見を行いました。この会見では、ホスト国モビリティ運営ディレクターであるアブドゥルアジズ・アル・マウラウィ (Abdulaziz Al Mawlawi) 氏、Q22 の副最高オペレーション責任者であるジャシム・アル・ジャシム (Jassim Al Jassim) 氏、SSOC の副会長室エグゼクティブディレクターであるジャシム・アル・サイド (Jassim Al Sayed) 大佐、他が登壇しました。

アル・マウラウィ氏は次のように述べています。「今大会は 2022 年のワールドカップに先立ち、準備状況やあらゆるインフラを確認するまたとない機会となりました。我々はすべての交通インフラをテストしましたが、これには通常の 1 日 17 時間営業を 21 時間に延ばして 7 万 1,000 便を運行したカタール鉄道も含まれます。また、ファン向けに 6 万 2,000 台分の駐車スペースを提供したアシュガル (Ashghal)、遠征してきた 15 のチームを迎えるため専用ターミナルを運用したハマド国際空港も対象でした」

「オマーンからの 100 人を含む 90 カ国から集まった 5,000 人のボランティアに加えて、54 カ国から 1,100 人が参加しました。また 20 万件のファン ID を発行しましたが、この経験は 2022 年に最高のサービスを提供するのに役立つことでしょう」

ファン ID は、最初の 16 試合で採用されました。詳細レビュー後、FIFA ワールドカップに関連した本プログラムの最新情報についての発表が近々行われる予定です。

アル・ジャシム氏は、次のように述べています。「来年の FIFA ワールドカップに先がけた最大のイベントとして、今までに 28 試合を開催しています。我々は、スタジアム、トレーニング場運営、ファン ID に関して重要なことを数多く学んできました。新型コロナウイルス感染症のパンデミックが続く中で試合を安全に運営できるよう支援して下さった公衆衛生省をはじめ、戦略的ステークホルダーの皆様へ感謝申し上げます。これまで全試合分で 56 万枚以上のチケットを販売しており、大会期間中には多くのファンやメディア関係者が 1 日に 1 試合以上を観戦する予定です」

チケットの枚数は主要な成果のひとつですが、準々決勝終了時点でその数は 56 万枚を超えています。これには新記録となる 6 万 3,439 人の観客を集めた 12 月 10 日のカタール対アラブ首長国連邦 (UAE) の試合が含まれます。これはカタールにおけるスポーツイベント史上最大の観客数でした。

最大の人気を集めたカタール対 UAE 戦以外にも、ホスト国が関与しないアルジェリア対エジプト戦、およびチュニジア対エジプト戦の両試合は、どちらも販売可能枚数の 93% を超えるベストセラーとなりました。チケットの販売総数の約 89% はカタール居住者が購入している一方、海外のチケット所有者数のトップ国はエジプトとサウジアラビアでした。

メディア向け身分証明書の発行は 1,000 件以上、また、撮影申請も 252 件にのぼりました。

ファンの約 25% は試合観戦のために公共交通機関（ドーハ・メトロまたはシャトルバス）を使用しており、ドーハ・コーニッシュ遊歩道沿いの特別イベントに参加するためにメトロを利用した人は 68 万人を超えました。スタジアム 974 で行われたエジプト対スーダン戦を観戦したファンの約 83% はドーハ・メトロを利用しています。

内務省、防衛省、レフウィヤ SC などの代表者からなる SSOC は、職員、チーム、ファンを含む試合関係者全員の安全を確保する総合的戦略を策定しました。SSOC はスタジアムやメディアセンターをはじめとする全ての試合会場のセキュリティを担い、ステークホルダーには円滑な移動を保証し、スタジアムへの禁制品の持ち込みの禁止を徹底しました。

アル・サイド大佐は次のように述べています。「決勝戦の試合終了のホイッスルが鳴るまであと数日を残すばかりですが、何の問題も危機も起きていません。全てのセキュリティ業務は計画通りに進みました。我々のセキュリティ部門はさまざまなステークホルダーと協力し、最後の試合まですべてのファンの安心と安全のために努力を続けます」

準決勝および決勝戦は [FIFA.com/tickets](https://www.fifa.com/tickets) よりチケットが入手可能です。

【2022 年サッカーW 杯カタール大会伝送と遺産の最高委員会について】

2011 年にカタール国によって設立された [Supreme Committee for Delivery & Legacy](#)（[伝送と遺産の最高委員会](#)）は、同国が FIFA ワールドカップ 2022 を主催するために必要なインフラストラクチャと開催国としての計画と運用の提供を担当しています。国の開発目標の達成に向けて、カタールおよび中東、アジア、そして世界に永続的な遺産を生み出します。また、当委員会とステークホルダーが提供するスタジアムおよびその他のインフラは、サステナビリティとアクセシビリティを中核にする、コンパクトでコネクタされた FIFA ワールドカップに貢献します。大会後、スタジアムとその周辺施設は、地域コミュニティの活気に満ちたハブとなる予定で、構築を目指す遺産の不可欠な要素となります。当委員会は、Qatar 2022 Local Organising Committee (LOC) と緊密に連携し、世界中からカタールを訪れるサッカーファンの方々に、熱狂に包まれたエクスペリエンスとホスピタリティをお届けします。[Generation Amazing](#)、[Challenge 22](#)、[Workers' Welfare](#)、[Community Engagement](#)、[Josoor Institute](#) 設立など数々のプログラムを通じて、当委員会はサッカーの力によりカタール国内およびアジア地域のコミュニティの人と人のつながりと、社会的、経済的、環境的発展を促します。

本件に関するお問合せ

2022 年サッカーW 杯カタール大会伝送と遺産の最高委員会 日本 PR 事務局
アリソン・アンド・パートナーズ株式会社 多賀/内山
E-mail : Qatar_pr_japan@allisonpr.com

###